

鳩山首相辞意表明についての会頭コメント

首相自身の政治とカネの問題、普天間基地の移転問題の失政による国内外の信頼の失墜が、今回の辞任を招いた。新政権発足以来の党全体での政権担当能力の不足が、経済・財政運営を停滞させ、景気の不安材料になっていた。

夏の参議院選挙だけを考えて、政権与党のマニフェストにこだわるあまり、社会保障制度や成長戦略など、国民の安心・安全と持続的な経済成長のための将来ビジョンを示せず、結果として、新しい政治への転換を望んだ国民の期待を大きく裏切った。

次期首相には、政局の混乱を速やかに收拾し、国民の政治への信頼を早く回復させるとともに、雇用機会を増やすためにも、経済のパイの拡大を目指す政策へと転換し、遅滞なく成長戦略の実行に努めることを緊急の課題として対応いただきたい。

欧州の金融不安など依然として不透明な経済状況にある。地域の中小企業は、自律的な回復に向けて、正念場を迎えている。政局の混迷に惑わされることなく、顧客創造による新たな成長を目指し、着実に事業活動に取り組む自主努力の必要性を呼び掛けたい。

以 上

平成 22 年 6 月 2 日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄